

いろんな おとの あめ

きしだ えりこ

あめ あめ
いろんな おとの あめ

はっぱに あたって びとん
まどに あたって ぼちん
かさに あたって ばらん



ほつぺたに あたって ぶちん
てのひらの なかに ぼとん
こいぬの はなに びこん
こねこの しっぽに しゆるん
かえるの せなかに びたん
すみれの はなに しとん
くるまの やねに とてん

あめ あめ あめ あめ
いろんな おとの あめ



一よむ 三名

二とく (第一次指導 概観)

○題目 絵を見ながら

- ①「雨」を指して? ②雨の粒の大きさと音の関係は?
- ③この雨を喜んだ人は? ④この女の子の歳は?
- ひびき

⑤この子が最初に聞いた雨の音は? ⑥どこで聞いたの?
⑦家の中で、葉っぱと窓に当たる音を聞いて面白くなって、外でい
んな音の雨を見つけて生まれた詩。どんな動物を探して聞いたの?
最後に、駐車場で聞いたのは?

○手引き

・どんな音の雨が楽しいか、考えながら全文視写

三よむ 黙読 (第二次指導 詳しく読む)

四かく 視写 (一番上のマス 行に合わせて)

五よむ 指黙読(一回) 指音読(二回)

六とく

○語義・区分

①難しい言葉は?(はな||鼻・花 アクセント)

②区分(二連目 二区分 あたって の::に)

・面白くなったのは、後の方

◎心

③音の楽しさが出るように作ってある。

繰り返しの効果 韻の効果 促音の効果 リズム

前半 4 4 3 ・ 3 4 3 ・ 3 4 3 ・ 5 4 3

後半 5 3 3 ・ 4 3 3 ・ 4 4 3 ・ 4 4 3 ・ 4 3 3 ・ 4 3 3

④雨好きの蛙、小さなコップ型の花、柔らかな鼻、毛のある尻尾、不思議な音が聞きました。

○余韻 いろんな音の雨、聞いてみたいな。

七よむ 指音読 暗唱へ

*音の前で休符を入れて読んでみるとか、読み方の工夫も楽しむ。